

●**フロントエアバッグ**：ステアリングホイールとグローブボックスから展開します。正面衝突時にドライバーと助手席を保護する。これらのエアバッグのメリットを最大限に活用するには、カジュアルであろうと短い乗車であろうと、適切に調整されたシートベルトを必ず着用してください。

●**カーテンサイドエアバッグ**：乗員とサイドドア/ウィンドウの間にクッションを形成することにより、頭と胴体上部の両方を保護します。側面衝突の衝撃で窓枠の上から展開します。シートの列ごとにカーテンサイドエアバッグが用意されており、フロントエアバッグとは異なり、時間の経過とともに収縮するため、ロールオーバータイプの事故威力を発揮します。

●**シートベルトのプリテンショナー**：シートベルトのたるみを調整し、衝突時に乗員が急激に前進するのを防ぎます。

●**アンチロックブレーキシステム（ABS）**：激しいブレーキをかけたり、滑りやすい路面でブレーキをかけたりした場合のホイールロックのリスクを軽減します。より良いステアリング制御を維持し、物体や他の車にぶつからないようにするのに役立ちます。

●**エレクトロニクススタビリティコントロール（ESC）**：障害物に対するドライバーの反応の結果として、横滑りやコントロールを失う危険を減らします。コンピューター制御のテクノロジーを使用して個々のブレーキをかけ、フィッシュテイルの危険なしに安全に車を戻すことができます。

●**自律緊急ブレーキ（AEB）**：センサーを使用して、近くにいる他の車両や道路ユーザーの存在と相対速度を監視します。衝突の危険が差し迫っていることをドライバーに警告し、ドライバーが是正措置を取らなかった場合にブレーキをかけることさえします。

●**緊急ブレーキアシスト（EBA）**：ドライバーが緊急停止を試みていることを感知すると、完全なブレーキング力をかけるドライバーアシストテクノロジーです。これは、アンチロックブレーキシステム（ABS）と連動して、ホイールのロックアップを回避します。

●**トラクションコントロールシステム**：はホイールの回転を測定し、加速時に路面での最適なグリップと安定性を車に与えます。エンジン出力を下げるか、一時的にそのホイールにブレーキをかけることで、ホイールのスピンを停止します。これにより、滑りやすい路面でもスムーズに加速できます。制限された滑り差は、滑りやすい路面に牽引力を均等に分散させるのにも役立ちます。

●**ヘッドレスト**は重要な安全機能であり、後部衝突時のむち打ちを防ぐのに役立つため、すべてのシート（前部および後部）に取り付ける必要があります。

●**アクティブクルーズコントロールまたはアダプティブクルーズコントロール**：前方の車両の距離と速度を検出し、安全な後続距離を維持します。

●**ブラインドスポット警告システム**：隣接する車線にある物体の距離と速度を検出し、衝突が差し迫っていると警告します。

●**車線逸脱警告（LDW）システム**：ウインカーの指示を出さず、車線から逸脱したり、車線変更が発生した場合にドライバーに警告します。

貴方の車の安全チェック

ANCAP（新車の場合）またはUCSR（中古車の場合）では、車の評価は4点以上ですか？

どのような用途ですか？

- オフロードでの使用
- 長距離旅行
- 一般的な自動車
- 日常通勤
- 子供シートの設置
- キャラバン/トレーラーのけん引
- 車のトランクに十分な収納スペースがある

安全機能を確認する

衝突保護

- 4つ星または5つ星の安全性評価
- シートベルトプリテンショナー
- 適正な長さのシートベルト
- デュアルフロントエアバッグ
- カーテンエアバッグと側面衝撃保護
- サイドエアバッグ
- ニーエアバッグ
- むち打ち防止システム
- 調節可能なヘッドレスト
- 貨物室バリア
- 衝突緩衝部

衝突回避

- アンチロックブレーキシステム（ABS）
- 電子安定制御（ESC）
- 緊急ブレーキアシスト（EBA）
- トラクション制御システム
- クルーズコントロール
- アクティブクルーズコントロール
- 後方確認カメラやセンサー
- 自動日中走行用ライト
- 白または他の目立つ色
- インテリジェント速度適応（ISA）システム

ドライバーの快適さ

- 調整可能な座席位置
- 調整可能なステアリングホイール
- 調節可能なシートベルトの高さ
- 電動ミラー
- 頭と脚の十分なスペース
- 運転席からの障害物や死角のない、オールラウンドな視認性
- クルーズコントロール、ワイパーなどの機器が使いやすいか
- 快適な座席と腰椎（腰）のサポート
- パワーステアリング

運転性

次の機能は検査/テストに合格しましたか？

- ハンドル
- ブレーキ
- 安定した走行（例：コーナリング、段差乗り越え）
- 追い越し
- バック
- 駐車しやすい
- 死角の問題
- 冷暖房
- ターニングサークル
- タイヤ状態

子供の安全

法律により、7歳までの子供は適切に調整されたチャイルドシートに座らせる必要があります。したがって、次の車は、次の安全機能を検討してください。

- 後部中央のラップ/サッシュシートベルト（3ポイントシートベルト）
- チャイルドシート用のセンターリアアンカーポイント（フック）

シートベルトは、最も伸ばされた（リクライニングされた）位置にあるときに、拘束をすり抜けるのに十分な長さですか？

ハッチバックの場合、荷物の棚がテザーストラップの調整の邪魔にならないように、後部座席と後部アンカーポイントの間にスペースがありますか？

人の発動機の場合、すべての座席に固定ポイントがありますか？それらはどこにありますか？子供の拘束具を装着すると、乗員数が減りますか？